

報道関係者各位

自治体ご担当者様各位

令和4年7月1日

登録 NPO 松山・白石の鼻巨石群振興会
松山観光港ターミナル株式会社

松山観光港ターミナルビルでのパネル展開催について

松山・白石の鼻巨石群振興会（代表仲矢文和、正会員 12 名）と松山観光港ターミナル株式会社（代表取締役社長一色昭造）は、海の月間（7/1～7/31）に合わせて、パネル展『伊予のストーンヘンジ～白石の鼻巨石群について』を共同開催するのでお知らせいたします。

当振興会は14年に渡り松山市高浜6丁目白石の鼻海岸一帯に存在する花崗岩の巨石群について調査研究および、地域の宝磨きとしての広報活動を行ってきました。

白石の鼻巨石群は海上や海岸付近の巨石の構造や配置と、二至二分の太陽軌道が一致して神秘的な光景を見せる日本でも有数なスポットです。

今回、「海の月間」実行委員会のメンバーである松山観光港ターミナル(株)と共同開催することで、ターミナルビルの乗降客や旅行者に巨石群の魅力を広く知っていただけることを目的に開催します。

1. パネル展『伊予のストーンヘンジ～白石の鼻巨石群について』の内容

●日時：7月4日（月）～7月31日（日）

●白石の鼻巨石群の写真、ビデオ、模型、資料の展示

2. 登録 NPO 松山・白石の鼻巨石群振興会について

代表：仲矢文和（前高浜公民館館長）

事務局長：篠澤邦彦（松山市在住会社員。イワクラ学会理事、日本天文考古学会理事）

外部顧問：前田 眞（愛媛大学社会連携推進機構 教授）

会の目的：松山市高浜町の松山・白石の鼻巨石群を中心に他団体や組織と連携しながら松山西部地区、島嶼部の観光・文化を中心とした地域活性化に寄与することを目的とする。

ホームページ：<http://haku1414.com/>

3. これまでの活動実績

- 2008年9月より春夏秋冬の夕日の観賞会を連続55回開催しました。
- 有識者を招いたシンポジウムを7回開催しました。

- イワクラ学会、日本天文考古学会等の全国大会で4回の発表を行いました。
- NHK、あいTV、愛媛朝日TV、愛媛CATV、全国紙4紙、愛媛新聞など多数のメディアで報道されました。

4. 最近のトピックス

- カゴメ社が令和3年3月23日より期間限定販売されている「カゴメ野菜生活100、瀬戸内柑橘ミックス」に「白石の鼻巨石群・白石龍神社」が紹介されました。
※カゴメ社のニュースリリース
<https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2021/img/2021031002.pdf>
- フォロワー数50万人を誇る観光サイト瀬戸内Finder様のサイトに紹介され、当会も資料提供を行いました。
「伊予のストーンヘンジ!?海辺の“ありえない”巨石ミステリースポット／白石の鼻巨石群」<https://setouchifinder.com/ja/detail/28536>
- 令和3年4月7日に松山市の登録NPO団体としての認定を受けました。
- 令和4年1月に（公財）えひめ地域活力創造センターの補助金を受け駐車場付近に説明板を設置しました。

5. 今後の活動内容

- ① 地域住民を主体とした季節の二至二分（夏至・冬至・春分・秋分）での夕日の観賞会・観測会の実施
- ② シンポジウム、ウォーキング等のイベントの実施
- ③ 白石の鼻巨石群の保全活動及び保全への提言活動
- ④ 外部へのホームページ、ブログ、勉強会等による情報発信
- ⑤ 瀬戸内海周辺の巨石文化の調査研究を行うための調査機関として松山・白石の鼻巨石群リサーチセンターの設置、運営

6. 本件連絡先

事務局：篠澤まで

電話：050-3580-3696（18：00～21：00まで）

e-mail：shiraishinohana.labo@gmail.com

以上

（参考）海の月間

7月の「海の日」は、海に感謝し、海洋国日本の繁栄を願うことを目的としており、同月間では海事関係者をはじめ多方面の方々が様々な行事を実施し、参加していただくことにより海洋・海事思想の一層の普及を図ることとしています。